

はつかいち福祉ねっと

取組まとめ

～令和元年度～

全体会

【目的など】

はつかいち福祉ねっと全体の計画・実績・方向性や地域課題、政策提言等の共有を行います。

【構成団体】

当事者・家族団体、福祉サービス事業所、医療機関、行政機関、教育機関、民生委員児童委員協議会等(約180団体・機関)

【これまでの主な取組】

- ・はつかいち福祉ねっと部会報告(取組計画・取組報告)(平成20年度～)
- ・きらりあ活動報告(平成20年度～)
- ・市の計画について
 - 「第2期廿日市市障がい福祉計画について」(平成21年度)
 - 「第3次障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画について」(平成26年度～)
- ・研修
 - 「やさしいまちづくり 可部での活動を通して」(平成25年度)
 - 「広島市8月20日豪雨災害を経験して」(平成26年度)
 - 「あび隊～知的障がいのある人の疑似体験～」(平成27年度)
 - 「避難行動要支援者避難支援制度について」(平成27年度)
 - 「障害者差別解消法について～法律の概要と活用のポイント」(平成28年度)
 - 「地域生活支援拠点について」(平成28年度)
 - 「みんなしあわせ～つばさという“場”から地域福祉の根っこを探す」(平成28年度)
 - 「すべての福祉の道は「地域福祉」に通ず」(平成29年度)
 - 「一般企業における障がい者雇用について」(平成29年度)
 - 「防災(出前トーク)」(平成30年度)
 - 「発達障がいってどんなもの?～疑似体験をしてみましょう～」(平成30年度)
- ・障がい者スポーツ体験(平成25年度)
- ・ステージ発表(平成24年度～)

【令和元年 取組計画】

- ①平成30年度相談支援実績報告
- ②はつかいち福祉ねっとの取組報告、計画共有
- ③ステージ発表、事業所紹介、事業所製品の販売・展示
- ④研修会
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和元年度 取組報告】

年2回(7月5日、2月21日)全体会を開催し、多くのみなさんとはつかいち福祉ねっとの取組などについて共有しました。

7月の全体会では、「防災」(講師:廿日市市地域政策課 三浦相談員)というテーマで研修を行い、防災の基礎知識、ハザードマップの見方等、座学だけではなく、地域ごとにグループに分かれ自宅や事業所の場所をハザードマップで確認し、避難経路や対策について話し合いました。また、お昼休憩には、パン、コーヒー、クッキー他事業所製品の販売・展示を行いました。

2月の全体会は、事業所での日々活動の中で取り組んでいる芸術活動について、ステージ発表していただきました。芸術活動についてのステージ発表は初めてでしたが、参加者からは「よかった」「感動した」「今後の作品も楽しみ」等と感想をいただきました。研修は、「総社市の自立支援協議会の取組と総社市における引きこもり支援について」(講師:総社市障がい者基幹相談支援センター長 山田新二氏)をテーマに企画しました。

今後もみなさんとお互いの取組を確認し合いながら、地域課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。



会議の様子



研修(グループワーク)の様子

部会代表者会議

【目的など】

専門部会(障がい別会議・課題別会議)の代表者を構成員とし、はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がい者に対応した地域包括ケアワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和元年度 取組計画】

- ①年間4回の会議開催
- ②はつかいち福祉ねっとの取組全般に関する情報共有や必要事項の協議

【令和元年度 取組報告】

年4回(5月16日、6月20日、11月21日、2月6日)開催しました。各部会の取組状況を共有しながら、全体会など福祉ねっとの運営全般に関わること等について協議しました。



会議の様子

計画推進会議

【目的など】

「廿日市市障がい者計画・廿日市市障がい福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画」をPDCAサイクルで推進するために、地域課題やはつかいち福祉ねっとでの取組について協議を行います。

【構成団体】

①身体障がい部会②知的障がい部会③精神障がい部会④こども部会⑤わかりやすい情報部会(わかりやすい情報発信プロジェクト、手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト)⑥就労支援部会(福祉就労ワーキング、特別支援学校進路ワーキング)⑦発達支援部会⑧医療的ケア児(者)部会⑨地域生活支援部会(精神障がい者に対応した地域包括ケアワーキング、余暇活動支援ワーキング、訪問介護事業所連絡会、防災プロジェクト、地域生活支援システムプロジェクト)⑩相談支援部会⑪学習・啓発部会(権利擁護ワーキング、“障害者週間”ワーキング、“発達障害啓発週間”ワーキング)

【令和元年度 取組計画】

- ①年間2回の会議開催
- ②「第3次廿日市市障がい者計画」「第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画策」をPDCAサイクルで推進するための協議

【令和元年度 取組報告】

8月22日(木)に開催した会議では、「第3次廿日市市障がい者計画」の進捗状況について市から報告を受け意見交換等を行いました。

3月26日(木)に予定していた会議は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となり、「第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画」の進捗状況や福祉ねっとで抽出した新たな地域課題等は、書面による確認となりました。



身体障がい部会

【目的など】

障がいのある人・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人の困りごと等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。

また、みんなでスポーツを楽しんだり、安心して外出できる街づくりのための取組も行っています。

【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園⑨日本頸髄損傷 LifeNet⑩広島県難聴者・中途失聴者団体連合会廿日市支部

【これまでの主な取組】

- ・おりづる出前教室
健康づくり講演・料理教室・レクスポなど(平成22年度～)
- ・まち点検実施
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅周辺点検
宮島口駅周辺点検
宮島点検 ※廿日市市障害者福祉協会「宮島安心ガイドマップ」作成に協力、広電廿日市駅及びJR廿日市駅周辺地区整備、平良市民活動センターリニューアル、JR大野浦駅周辺地区整備に向け廿日市市担当課と意見交換
JR廿日市駅点検(平成23年度～)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成27年度～)
- ・“障害者週間”イベント(ゆめタウン廿日市)に参加(平成27年度～)

【令和元年度 取組計画】

- ①まち点検：TOTO 宮島おもてなしトイレ等の点検
- ②おりづる出前教室：7月18日(木)レクスポ(広島ひかり園)
- ③防災(啓発活動・避難訓練)
- ④“障害者週間”を活用しての啓発活動
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和元年度 取組報告】

まち点検として、TOTO 宮島おもてなしトイレの点検をしました。市の障害福祉課と施設整備課、観光課の職員さんが同行してくださり、また前年度部会の中で開催したおもてなしトイレの意見交換が反映されていた点もありうれしく思いました。まち点検で出た意見や結果については、部会の中で整理をし、市に報告をさせて頂く予定です。

また、レクスポについては、例年と同様、広島ひかり園で開催しました。風船バレーや、ピンボウリング、スロービーなどを楽しみました。

その他、他の障がい別会議のみなさんといっしょに、防災プロジェクトや“障害者週間”ワーキング、地域生活支援システムプロジェクトなどなど、他の課題別会議で行う行事や活動に参加をし、充実した1年となりました。



まち点検



おりづる出前教室

知的障がい部会

【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

【これまでの主な取組】

- ・リーフレット「なっってください！サポーターに」作成(こども部会と共同)(平成 20 年度)
- ・「サポートファイル学習会」(こども部会・発達支援部会と共同)(平成 22 年度)
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるピクス」「レクスポ」など(平成 23 年度～)
- ・「東日本大震災被災体験講演」(平成 24 年度)
- ・「要援護者避難支援制度学習会」(平成 25 年度)
- ・障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関の情報収集(平成 27 年度～)
- ・地域生活支援拠点に関する情報収集、学習(平成 27 年度)
- ・あいプラザ消防訓練に参加(平成 27 年度～)
- ・就労に関する学習(平成 28 年度)
- ・学習「障害福祉サービス」「特殊詐欺等」(平成 29 年度)
- ・学習「障がい福祉サービス(介護保険移行)」(平成 30 年度)

【構成団体】

- ①ピクトハウス家族会
- ②友和の里保護者会(通所部)
- ③友和の里保護者会(入所部)
- ④廿日市市手をつなぐ育成会
- ⑤くさのみ作業所家族会
- ⑥障害者施設・原家族会
- ⑦おのおの手をつなぐ育成会
- ⑧ファミリーレ
- ⑨虹の会
- ⑩くさのみ作業所
- ⑪ピクトハウス
- ⑫友和の里
- ⑬アダージョ
- ⑭障害者支援施設原
- ⑮大野ふれあい生活介護事業所
- ⑯あおぞら
- ⑰あうるワークスペース
- ⑱リパティールはつかいち
- ⑲おおの共同作業所
- ⑳日本ダウン症協会(はつかいち)

【令和元年度 取組計画】

- ①おりづる出前教室 11 月 16 日(土)「ゆるゆるピクス」開催(障害者支援施設原体育館)
- ②事業所見学 5 月 8 日(水)友和の里・グループホームゆうわ
- ③あいプラザ消防訓練参加 9 月 20 日(金)
- ④障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集
- ⑤学習「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」
- ⑥情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)
- ⑦第 3 次廿日市市障がい者計画・第 5 期廿日市市障がい福祉計画・第 1 期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和元年度 取組報告】

新たな参加事業所、団体が加わり総勢 30 人の部会となりました。

例年取り組んでいる「おりづる出前教室」「事業所見学(友和の里・グループホームゆうわ)」「あいプラザ消防訓練参加」「障がいのある人が利用している理・美容院、医療機関情報収集」「情報交換(家族団体グループ、事業所グループ)」に加え、「ネット犯罪・ネット詐欺に関する学習会」を行いました。

おりづる出前教室では 68 名が参加し、音楽に合わせた体操や大きなボールをみんなで協力して運ぶゲーム、風船バレーなどを行い、楽しみながら運動することができました。

学習会では、KDDI 株式会社 中国総支社 管理部 井瀬マネージャーから「KDDI スマホ・ケータイ安全教室出前講座(初中級コース)」、廿日市警察署 生活安全課 加藤係長から「無料サイトについて」の説明をしていただきました。事業所の利用者を含め 40 名で詐欺や犯罪の実態と具体的な対応方法について学びました。

みんなで意見交換や情報共有を積極的に行いながら取組を進めることができ、充実した一年になりました。



毎月 1 回の定例会



おりづる出前教室(ゆるゆるピクス)

精神障がい部会

【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

- ・研修(主催:廿日市市、共催:はつかいち福祉ねっと)
 - 「障がいがあっても元気でいられる」(平成28年度)
 - 「高次脳機能障害ってどんなこと?」(平成28年度)
 - 「発達障害のある人・家族の気持ちと支援のあり方」(平成28年度)
 - 「あなたの知らないお酒の世界」(平成29年度)
 - 「高次脳障がい者のための知っておきたいエピソード」(平成29年度)
 - 「発達障がい児・者への援助と利用」(平成29年度)」
- ・おりづる出前教室(平成23年度～)
- ・当事者主体の地域交流事業
 - 備北丘陵公園(平成26年度)
 - 安佐動物公園(平成27年度)
 - 尾道千光寺公園日帰り旅行(平成28年度)
 - みんなで作った餃子をみんなで食べる!!お食事会(平成29年度)
 - 温井ダム見学(平成30年度)



交流企画



おりづる出前教室

【構成団体】

①精神障害者家族会こぶし会②大野精神障害者家族会あいあい③高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会④友和病院⑤訪問看護ステーションゆうわ⑥訪問看護ステーションこころれ廿日市⑦訪問看護ステーション和み⑧エスペランサ⑨あうるホーム フィーカ⑩あいあい作業所⑪にじのえき⑫さくら作業所⑬コーヒーショップあんず⑭ハナミズキ⑮相談支援事業所あおぞら⑯相談支援事業所エスペランサ⑰さくら相談支援事業所⑱串戸心療クリニック⑲広島県西部保健所⑳市社会福祉協議会

【令和元年度 取組計画】

- ①精神障がいに対する理解と啓発
- ②高次脳機能障がいに関する理解と啓発
- ③おりづる出前教室
- ④交流企画
- ⑤制度の勉強会
- ⑥施設見学
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和元年度 取組報告】

おりづる出前教室を大野地域で開催し、レクリエーションスポーツとしてシッティングバレーなどをして大いに盛り上がりました。

恒例となっている交流企画は、3回会議を開催し利用者と一緒に行き先や交流の内容などについて話し合いを行いました。総勢60人で蜂が峯公園にいき、企画していた宝探しゲームなどで行い、楽しいひと時を過ごすことができました。

施設見学では、大野地域の事業所(清風会みやじま、Hanaと花舎、あいあい作業所)の見学を行いました。

2月には、ゴミの捨て方について市の出前トークを活用して事業所の利用者と一緒に学習を行いました。

こども部会

【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取組を行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取組、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

【これまでの主な取組】

- ・「リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート(平成23年度～)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」(平成23～28年度)
- ・夏休み工作教室(平成25年度～)
- ・学習会「障がい児者のきょうだいについて」(平成27年度)
- ・“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」作成(平成28年度)
- ・スポーツ吹矢づくり&体験(平成28、29年度)
- ・こども部会アンケート(平成29年度)



夏休み手づくり教室

“障害福祉サービス”等のべんり帖
～こどもバージョン～

【構成団体】

①みんなのつながりを豊かにしたい会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会オレンジクラブ⑤よしわ・さいき障がい児と親の会「みかん」⑥広島自閉症協会⑦スイミー⑧ちょうちょ⑨きょうだい支援の会SIBLINGS⑩ふれじゅーる⑪廿日市市難病患者こども会

【令和元年度 取組計画】

- ①夏休み手づくり教室(友和の里と共催)
- ②地域とのつながりづくりアンケート
- ③「“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」改訂、配布
- ④ブログ・LINEを活用した情報発信(団体に所属されていない保護者とのつながりづくり)
- ⑤こども部会アンケート分析
- ⑥こども部会のあり方検討
- ⑦第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画推進

【令和元年度 取組報告】

新たな地域課題等を反映させた資料(平成29年度に実施した“こども部会アンケート”の集計結果より追記)を使用し、第3次廿日市市障がい者計画・第5期廿日市市障がい福祉計画・第1期廿日市市障がい児福祉計画のPDCA作業を行いました。

“こども部会アンケート”の集計結果については、こども部会だけではなく、多くの保護者、福祉サービス事業所職員等とも共有できるよう、数値をグラフ化する等し、分かりやすい資料を作成しました。

初版発行以降、改訂ができていなかった「“障害福祉サービス”等のべんり帖～こどもバージョン～」の改訂を行うことができました。

夏休み恒例企画は「夏休み工作教室」から「夏休み手づくり教室」と名称変更し、8月5日(月)にはグループホームゆうわで“手打ちうどんづくり&トートバッグ草木染”、8月10日(土)には友和の里で“傘立てづくり”と普段なかなかできない体験ができ、夏休みの楽しい思い出の1ページになりました。

“地域とのつながりづくりアンケート”、ブログ・LINEを活用した情報発信も継続して行いました。

部会メンバーの子どもの年齢が高くなってきている等の変化があるため、今後の部会のあり方を検討する1年にもなりました。

わかりやすい情報部会 わかりやすい情報発信プロジェクト

【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的としています。わかりやすい情報提供の方法の検討とともに、はつかいち福祉ねっとの取組を広く知っていただくことにも取り組みます。

【構成団体】

- ①はつかいち福祉ねっと有志
- ②市社会福祉協議会

【これまでの主な取組】

- ・福祉サービスガイドブック作成(平成20年度)
福祉サービスガイドブック改訂(平成24年度～)
- ・事業所紹介DVD作成(平成20年度)
(協力: 廿日市市市民活動センター)
- ・はつかいち福祉ねっと通信発行(平成20年度～)
- ・事業所一覧の作成・更新(平成21年度～)
- ・ホームページ開設・更新(平成22年度～)

【令和元年度 取組計画】

- ①はつかいち福祉ねっと通信発行
- ②事業所リスト・サービスガイドブックなど、最新の情報を提供
- ③ホームページ等を活用した情報発信

【令和元年度 取組報告】

事業所一覧の更新、ホームページ等を活用した情報発信を行いました。サービスガイドブックについては、改訂内容について検討しました。

事業所一覧は、7月、2月の全体会に合わせて内容の更新を行いました。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外にも、はつかいち福祉ねっとの活動を知っていただけるよう、廿日市内の市民センター、保育園等への配布を継続しました。

ホームページについては、音声読み上げソフトによる情報検索がスムーズにできるよう、画像やPDFファイルだけではなく、テキストファイルを挿入する等し、誰にとっても分かりやすい情報提供に努めました。また、はつかいち福祉ねっとの部会・ワーキングの様子を知っていただくため、会議録の掲載をスタートさせました。



わかりやすい情報部会 手話言語&コミュニケーション条例プロジェクト

【目的など】

「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」に基づき進める施策について、具体的な意見を出し合いながら協議していくことを目的としています。

【これまでの主な取組】

プロジェクトは、市の条例制定に向けて、障がいのある人や家族、関係者の声を聴きながら取組を進めたいという市の意向を受けて平成29年11月に新設しました。

条例に対する色々な意見をいただきながら検討を進め、平成30年6月の廿日市市議会定例会で「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が可決され、平成30年7月1日から施行されました。

- ・「パンフレットの作成(一般版、わかりやすい版)」(平成30年度)
- ・「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修(市の職員研修)」(平成30年度)
- ・「人権フェスタ2018~障がいのある人もない人も一緒にコミュニケーション~」(平成30年度)



多様なコミュニケーションを学ぶ
手話等体験研修



【構成団体】

①佐伯地区ろうあ協会廿日市支部②視覚障害者の会「椿会」③廿日市市障害者団体連絡会④日本頸椎損傷 LifeNet⑤広島県難聴者・中途失聴者団体連合会廿日市支部⑥障害者施設・原家族会⑦くさのみ福祉会⑧高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑨にじのえき⑩スイミー⑪ぷれじゅーる⑫廿日市市手話通訳者連絡協議会⑬廿日市市要約筆記サークルやじるべえ⑭市社会福祉協議会⑮市学校教育課

【令和元年度 取組計画】

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解を深めるための普及に関する取組(学校などでの普及啓発)

【令和元年度 取組報告】

新規採用された市の職員を対象とした「多様なコミュニケーションを学ぶ手話等体験研修」で、条例の説明、身体障がいのある人、精神障がいのある人、知的障がいのある人の家族から体験談をお話していただき、手話教室、体験学習(車いす体験、視覚障がい体験、筆談ボードの使い方、知的障がいのある人の疑似体験プログラム「あび隊」)などに協力しました。

12月から3月の期間で全6回、「津田小学校 放課後子ども教室」で1年生から6年生の約25人を対象とした手話教室を実施しました。放課後の時間ということもあり、遊びを取り入れながら手話を学ぶ工夫をしました。回数を重ねるごとに、身振りや手振りも取り入れながら徐々にコミュニケーションができるようになりました。

(学校などで啓発が行えるように検討を進めています)

条例のパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/34/37898.html>



就労支援部会 福祉就労ワーキング

【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

【これまでの主な取組】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品の PR
 - ①事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。
 - ②カタログについては市のホームページに掲載中
 - ③市役所ロビーショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓
 - ①商工はつかいちの封入作業
 - ②アンケートのデータ入力作業
 - ③その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取組
 - ①販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施(H23.6月)
 - ②info.表参道での常設販売(H23~R1.7月)
 - ③市役所ロビー常設販売開始(H27.4月~)
 - ④ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売(H30.2月~)

【構成団体】

①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房④にじのえき⑤コーヒーショップあんず⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所⑨アダージョ⑩障害者支援施設原⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所⑬友和の里⑭多機能事業所ばすてる⑮Hana と花舎⑯リパティ―はつかいち⑰あおぞら⑱あうるワークスペース⑲清風会みやじま⑳なずな㉑そらまめ㉒おおの共同作業所

【令和元年度 取組計画】

- ①各事業所の取組情報の共有(継続)
- ②“障害者週間”に向けての取組(継続)
- ③商品カタログの更新(継続)
- ④協働で行えるプロジェクトの実施及び進捗状況の確認(継続)

【令和元年度 取組報告】

ワーキングでは各事業所の仕事内容や取組等について情報共有を行いました。協働の取組としては「商工はつかいちの封入作業」、「市役所からのアンケートのデータ入力」、「市役所ロビーショーケース展示」、「市役所ロビー・大野文化ゾーン販売」、「全体会販売」、「ニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売」、「“障害者週間”啓発イベントへの参加」などを継続して行いました。

「市役所ロビーショーケース展示」は、2カ月のローテーションで2事業所ずつ活動紹介、製品、芸術作品などを展示し、地域のみなさんに事業所を知っていただく機会になっています。市役所に行かれた際はニューヤマザキデイリーストアー廿日市市役所売店常設販売、市役所ロビー販売と合わせてよろしくお願いします。



ニューヤマザキデイリーストアー常設販売



市役所ロビーショーケース



会議の様子

就労支援部会 特別支援学校進路ワーキング

【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校(廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む)の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握(平成21年度)
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加(夏休み期間中1回)スタート(平成23年度～)
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援B型の利用取扱い等について調整(平成25年度)

【構成団体】

- ①広島県立廿日市特別支援学校②ハローワーク廿日市③広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

(夏休み期間中：くさのみ作業所、ピクトハウス、夢工房、コーヒーショップあんず、アダージョ、大野ふれあい生活介護事業所、友和の里通所部、ぱすてる、ぱすてる大野原・ぱすてる大野原クリーニング、Hanaと花舎、あおぞら、あうるワークスペース、にじのえき、さくら作業所、ハナミズキ、障害者支援施設原、就労継続支援事業所原、広島ひかり園、あいあい作業所、ハートフルあまの、リバティーフつかいち、清風会みやじま、なずな、障害児相談支援事業所PIECE宮園、相談支援事業所くさのみ、相談支援事業所あおぞら、相談支援事業所そら、相談支援事業所いっぼ、相談支援事業所原、相談支援事業所広島ひかり園、相談支援事業所友和の里、さくら相談支援事業所、あうるサポートセンター、相談支援事業所エスペランサ、ライフプランナーKIZUNA、相談支援事業所みんなの手、市外特別支援学校)

【令和元年度 取組計画】

特別支援学校と進路先関係者等による情報共有(年4回)

※夏休み期間中ワーキング(2部構成)

前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有

後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有

【令和元年度 取組報告】

年3回のワーキングを開催しました(3月23日(木)に予定していた第4回ワーキングは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)。

新たな事業所参入もあり、夏休みのワーキングでは、例年より多くの市内事業所に参加していただき、前半に各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関で進路調整を行いました。先生と事業所の職員が直接顔を合わせて話げできたことで、その後のスムーズな進路調整につながりました。

直近の卒業予定の生徒だけではなく、先を見据えた課題の検討や発達支援部会で取り組まれている「福祉と教育の連携」についての共有等も行うことができました。



夏休みワーキング



特別支援学校進路ワーキング

発達支援部会

【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

【これまでの主な取組】

- ・社会資源(保育・教育・福祉)、相談支援の現状整理(平成20年度)
- ・サポートファイルの普及啓発
→関係者会議、モニター実施(平成21年度)
→「サポートファイル学習会」(こども部会・知的障がい部会と共同)(平成22年度)
→「サポートファイル支援者向け学習会」(平成25年度)
→「サポートファイル活用に関する調整会議」(児童発達支援事業所)(平成26年度)
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」(平成23年度)
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用(平成24年度)
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成(平成24年度)→配布(平成25年度～)
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」(平成24年度)
- ・障がい児支援関係事業所連絡会の開催(平成28年度～)

【構成団体】

- ①広島西こども発達支援センターくれよん
- ②市教育委員会
- ③市子育て応援室
- ④市こども課
- ⑤市障害福祉課
- ⑥きらりあ

【令和元年度 取組計画】

- ①ポジティブライフガイドの配布
- ②サポートファイルの普及・啓発
- ③障がい児支援関係事業所連絡会の開催
- ④教育と福祉の連携についての検討

【令和元年度 取組報告】

今年度は、部会を3回開催し、「教育と福祉の連携」「医療的ケア児(者)部会」についての協議等を行いました。

また、情報交換や支援者の質の向上等を目的とし、年3回定期開催している障がい児支援関係事業所連絡会(対象：児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、障害児相談支援事業所、児童養護施設、母子生活支援施設等)では、毎回、行政報告や事業所紹介、研修(※)を行っています。

乳幼児健診を中心に配布を継続しているポジティブライフガイドを今年度は、市内小・中学校の保護者に配布しました。

※令和元年度の研修内容

「医療から見た発達障害の理解と支援」講師：広島西医療センター 湊崎 和範 医師、「行動には意味がある！～気付いて、ほめて教えよう！～」講師：広島県立教育センター 特別支援教育・教育相談部 部長 竹野 政彦 氏、「発達障害のある子どもたちの行動面の支援ーアセスメントから考えるー」講師：学校教育課 特別支援教育士 山田充 氏



部会の様子

障がい児支援関係事業所連絡会

「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。内容は毎年改訂し、最新版を配布しています。



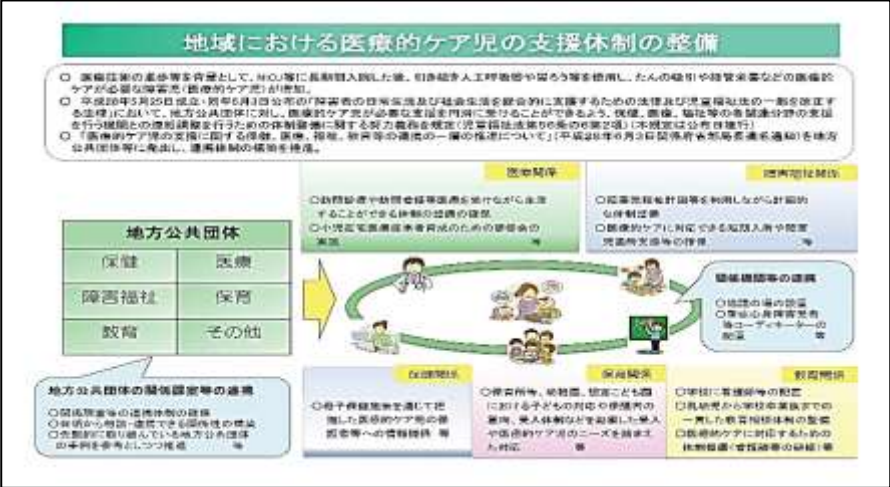
医療的ケア児(者)部会

【目的など】
 医療的ケア児(者)の地域の現状や課題を把握・検討するとともに、関係者会議等の開催を通して地域で支援に携わる保健、医療、福祉、教育等の連携を図ることを目的としています。

【構成団体】
 ①市障害福祉課②市子育て応援室③市こども課④市学校教育課⑤廿日市特別支援学校⑥広島西こども発達支援センターくれよん⑦うるおい訪問看護ステーション⑧ハートフルステーションあまの⑨訪問看護ステーションマハロ⑩佐伯地区医師会訪問看護ステーション⑪JA 広島総合病院⑫大野浦病院⑬広島西医療センター⑭重症児・者福祉医療施設原⑮児童発達支援センターおひさま⑯相談支援事業所あおぞら⑰きらりあ

【令和元年度 取組計画】
 医療的ケア児(者)部会の開催に向けての協議

【令和元年度 取組報告】
 今後の地域における医療的ケア児(者)への支援体制や部会の構成等について検討を重ねてきました。
 12月9日(月)には第1回目の関係者会議を開催し、これまでの国や県での動きや部会立ち上げの経緯について共有をするとともに、廿日市市における相談体制のフローチャートや部会の構成図について整理・確認をしました。また、関係機関同士で現状や課題の共有を行いました。
 今後は、個別支援会議や関係者会議の開催を通してさらに支援における課題や現状を把握するとともに、みなさんの意見を頂きながら、研修の開催等も検討していけたらと考えています。



厚生労働省資料「医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実に向けて」より抜粋(平成30年10月3日)



関係者会議

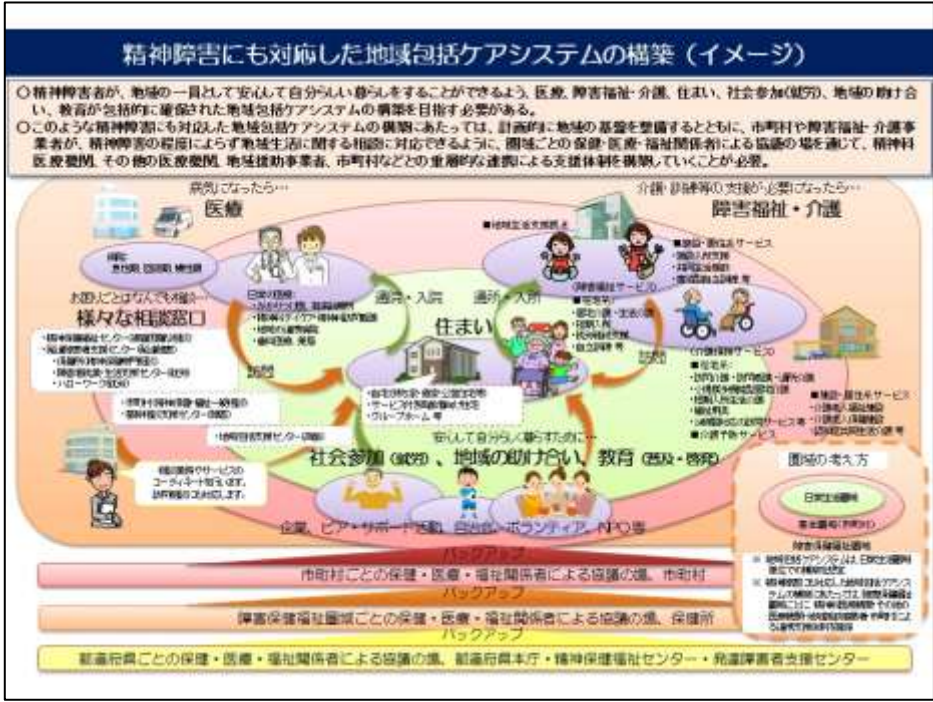
精神障がい者に対応した地域包括ケアワーキング

【目的など】
 精神障がいのある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築について協議することを目的としています。

【構成団体】
 ①市障害福祉課②広島県西部保健所③市社会福祉協議会

【令和元年度 取組計画】
 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの体制整備に関する情報共有

【令和元年度 取組報告】
 2か月に1回会議を開催しました。今年度は、個別ケースを共有し、地域課題や活用できる社会資源などについて話し合いを行いました。地域アセスメントをグループワークで行い、「医療」「障がい福祉・介護」「住まい」「社会参加(就労)」「地域の助け合い・教育(普及啓発)」の項目について、廿日市の現状や課題、ストレンクスなどについて関係者間で共有を図りました。
 これからのステップとして、作成された地域アセスメントから、取組について検討していくことと、個別ケースを通じて関係者が顔の見える関係を構築していくこととしています。



地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的としています。
当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題(居場所づくり等)解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

【構成団体】

- ①さくら相談支援事業所②あうるワークスペース③はつかいち福祉ねっと有志
- ④市社会福祉協議会

【令和元年度 取組計画】

- ①ななうら丸 de クルージング
- ②カローリング交流会

【これまでの主な取組】

- ・関係事業所情報交換会(平成 25 年度)
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修(平成 25 年度)
- ・障がい者スポーツ体験会(平成 26 年度～)
- ・カローリング交流会(平成 26 年度～)
- ・クルージング(協力: JR 西日本フェリー)企画(平成 27 年度～※平成 25～26 年度は事務局)
- ・「みんなの交通安全教室&広島県警察音楽隊演奏」(平成 28 年度～)

放課後長期休暇ワーキング(平成 20～24 年度)

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査(平成 20、21 年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成 22～24 年度)
- ・おりづる講習会(支援者対象)(平成 23 年度)
- ・関係事業所情報交換会(平成 20～24 年度)

【令和元年度 取組報告】

7 回目となるクルージング(協力: JR 西日本宮島フェリー)企画では、“ななうら丸”で昨年と同様、呉に行きました。これまでで最も多い参加人数でした(175 名)。行きの船内では、はじめての試みとして、船内放送を利用し、障がいのある人や代表者の方から団体・事業所紹介や呉での過ごし方などについて話をさせていただき「いろいろな情報を聞くことができ良かった」との感想がありました。JR 西日本宮島フェリー株式会社さんへは、参加団体を代表してあおぞらさんに感謝状を作成してもらい、船内で贈呈式を行いました。感謝状を操縦席の窓へ貼ってくださるサプライズに感動しました。呉到着後は観光にグルメにそれぞれ楽しい時間を過ごしました。帰りの船内では、瀬戸内海に詳しい参加者が島ガイドをしてくださり、有意義な時間を過ごすことができました。当初は雨の予報が心配されましたが、雨が降ることなく気持ち良い海風を感じる楽しいクルージングになりました。

「第 6 回カローリング交流会(2 月 8 日(土))」は、今年度もサンチェリーメインアリーナを会場に開催しました。当日は、28 チーム約 90 人の選手のみなさんが熱のこもったゲームを展開し、一投一投に一喜一憂、どのレーンでも最後には勝ち負けに関係なく、お互いをたたえ合う清々しい光景が広がっていました。協賛いただいた(株)やまだ屋さん、サントリービバレッジサービス(株)さんには心よりの感謝を申し上げます。



カローリング交流会



ななうら丸 de クルージング
手作り感謝状贈呈

地域生活支援部会 訪問介護事業所連絡会

【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。

【構成団体】

①ヘルパーステーションふれあい②訪問介護事業所第2 清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチイケアセンター廿日市⑤ニチイケアセンター広島宮内⑥サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑦ヘルパーステーションケーアイ⑧土谷ヘルパーステーション阿品⑨オムエルヘルパーステーション⑩もみじケア訪問介護事業所⑪(株)アッシュ⑫生協ひろしま介護サービス・廿日市⑬廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑭エコール在宅介護ステーション廿日市⑯訪問介護事業所なな

【これまでの主な取組】

- ・講演会「気分障害について」(平成22年度)
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」(平成23年度)
- ・研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」(平成26年度)
- ・研修会「発達障害の心のケアーヘルパーや支援者がしていること、してはいけないことー」(平成27年度)
- ・講演会「障害児を持つ保護者の気持ちを理解するために」(平成28年度)
- ・なちゅは介護セミナー(平成24、25年度)
- ・リハビリテーションケアセミナー(平成27年度)
- ・介護技術向上研修(平成28、29、30年度)
- ・救命講習(平成24、25、27、28、29、30年度)
- ・利用者・ヘルパー交流企画(平成24年度～平成27年度)
- ・長期休暇オープンスペース(平成25年度～平成27年度)
- ・第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度)

【令和元年度 取組計画】

ヘルパーのスキルアップのための研修

- ・救命講習
- ・腰痛予防研修
- ・制度学習会

【令和元年度 取組報告】

救命救急講習を開催し、廿日市消防署の方から心肺蘇生やAED使用方法、異物除去法など業務中のいざという時にあわてず活用できる救命方法を中心に指導を受けました。

広島県地域医療介護総合確保事業を活用した「腰痛予防研修」(講師：広島西地域リハビリテーション広域センター)も開催しました。日頃の姿勢の見直しから、ストレッチの方法等を参加者みんなで学びました。「ためになった」「職場で生かそうと思う」等の感想をたくさんいただきました。

12月には市障害福祉課職員さんを講師に、制度説明会も開催しました。日頃の業務で感じる疑問や課題について、みんなで質問や意見を出し合い、ひとつずつ整理をしていきました。今後も、疑問に思うことはお互いに確認し合い、連絡会を通して共通の認識のもと業務にあたりたいと思います。



腰痛予防研修



救急救命講習

地域生活支援部会 防災プロジェクト

【目的など】

障がいのある人や家族、関係機関と連携しながら防災や減災について学習会などを行っています。

また、防災などを通じて地域との連携などについても取り組んでいけるよう検討します。

【これまでの主な取組】

- ・ 防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・ 研修
「災害に備え、今から、やっておくこと」
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～(平成 23 年度)
- ・ 障がい別会議合同消防訓練(あいプラザ)(平成 27 年度～)

【構成団体】

- ①市危機管理課②市福祉総務課③市障害福祉課④市社会福祉協議会⑤きりあ

【令和元年度 取組計画】

- ①障がい別会議合同避難訓練(あいプラザ)
- ②障がいのある人の避難支援の仕組みに関する検討

【令和元年度 取組報告】

毎年恒例となっている「あいプラザ消防訓練(9月20日(金))」には、障がい別会議のみなさん(45人)が参加しました。当日は、避難誘導班の指示に従いながら、階段、スロープを使い、無事避難を終えた後に、「水消火器での消火体験」「煙幕体験」「火災 DVD 視聴」を行いました。

新たな取組としては、障がいのある人や事業所の実態把握(レッドゾーンにお住いの障がいのある人の個別訪問、日中活動系事業所アンケート)を行いました。そして、これらの結果を基に、障がいのある人たちの避難支援に関する協議を行うため、日中活動系事業所のみなさんを対象に「災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議(1月17日(金))」を開催しました。参加者(11法人12人)のみなさんからは、それぞれの事業所の現状と課題等をご報告いただきました。今後は、法人間の連携のあり方等について協議を進めていくこととなりました。

あいプラザ消防訓練の様子



～煙幕体験～

～火災 DVD 視聴～



災害時における障がいのある人の避難支援に関する会議

地域生活支援部会 地域生活支援システムプロジェクト

【目的など】

国が示した「地域生活支援拠点」を整備するため、本市に必要な地域生活支援システムのあり方等を検討し、「障がいのある人が、地域で安心して暮らし続けることができる仕組み」をつくることを目的としています

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部③日本頸髄損傷LifeNet④障害者施設・原家族会⑤高次脳機能障害家族会「シェイキングハンズ」廿日市地区会⑥スイミー⑦みんなのつながりを豊かにしたい会⑧広島ひかり園⑨友和の里⑩くさのみ作業所⑪さくら作業所⑫友和病院⑬エスペランサ⑭特定相談支援事業所広島ひかり園⑮相談支援事業所いっぽ⑯相談支援事業所エスペランサ⑰相談支援事業所あおぞら⑱もみじケア訪問介護事業所⑲あうる訪問介護サービスセンター(参加事業者調整会議：20法人)

【これまでの主な取組】

- ・プロジェクト、ワーキングによる「廿日市市地域生活支援システム」に関する協議検討(平成28年度～)
- ・「夜間・休日等における緊急時の受け入れ・対応アンケート」(平成28年度)
- ・地域生活支援システムの構築・整備に係る事例研修会～広島県・はつかいち福祉ねっと共催～(平成28年度)

【令和元年度 取組計画】

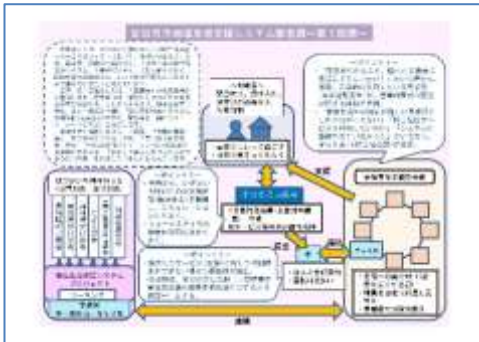
- ①地域生活支援システム運用による課題整理、改善実施
- ②参加事業者調整会議の開催
- ③他市町からの情報収集

【令和元年度 取組報告】

相談支援部会、防災プロジェクトとの連携のもと、廿日市市緊急時受入等事業「緊急時連絡票(兼登録申請書)」を改訂し、利用者登録の加速化に向けた調整(国加算の活用、家族・事業所による連絡票下書き作成)を行いました。「プロジェクト・参加事業者調整会議 合同会議(11月7日)」では、取組の進捗・課題等を共有し、まずは、利用登録を進めていくことの重要性について確認しました。

多くの人たちと協議を重ねながらつくり上げてきた本市の取組に、県内外の市町等も関心を寄せてくださり、取組紹介の機会をいただきました。(中国地区知的障害者福祉協会施設長会議 相談支援分科会(4月18日)、岡山県総社市視察受入れ(9月9日)、尾道市自立支援協議会(1月16日)、廿日市市手をつなぐ育成会(1月30日))

その他、プロジェクトメンバーや事務局職員から他市町の取組状況を照会したり、それぞれが参加した研修会等の情報を共有するなどして、他市町の取組や最新の情勢等に関する情報共有に努めました。



概念図

緊急時連絡票(兼)登録申請書



プロジェクト・参加事業者調整会議 合同会議の様子

相談支援部会

【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画(障がい児支援利用計画)」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

【これまでの主な取組】

- ・ サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等(平成24年度～)
- ・ 事業所間情報交換(平成24年度～)
- ・ 調査活動(タイムスタディ)(平成25年度)
- ・ オリジナル資料作成(虎の巻、計画相談に関する疑問と整理(Q&A)、相談支援専門員一覧)(平成24年度～)
- ・ 事業所紹介(平成24年度～)
- ・ Dropbox活用による情報共有(平成24年度～)
- ・ 事業所見学ツアー、事業所情報シート作成(平成26年度～)
- ・ 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み(平成26年度～)
- ・ サービス等利用計画作成に関する課題整理と解決方法検討のための実態調査実施(平成27年度)
- ・ サービス管理責任者と相談支援専門員合同研修会(平成27、28年度)
- ・ 事例報告(平成29年度～)

【構成団体】

- ①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧相談支援事業所いっぽ⑨相談支援事業所あおぞら⑩特定相談支援事業所友和の里⑪相談支援事業所エスペランサ⑫ライフプランナーKIZUNA⑬障がい児(者)相談支援事業所みんなの手⑭一般社団法人青少年自立支援フォーラム子ども発達支援室⑮アマノリハビリテーション病院⑯生協ひろしま介護サービス・廿日市⑰多機能事業所ぱすてる⑱スプリングコート⑲ウィルサポキッズ廿日市SSTs⑳児童デイサービスRaiz廿日市㉑エスペランサ

【令和元年度 取組計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取組
- ・ 各種情報共有
 - ・ 「学習コーナー(定例部会内)」での学習(制度、計画作成など)
 - ・ 「グループワーク(定例部会内)」による事業所間の情報共有
 - ・ 「事例報告(定例部会内)」
 - ・ 事業所見学ツアー&事業所情報リスト作成
- ②新たな相談支援事業所参入に向けた取組
- 部会へのオブザーバー参加受け入れ、Dropboxによる情報共有で新規参入事業所等へのフォロー

【令和元年度 取組報告】

毎月定例会を開催し、相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上、事業所間の情報共有・連携をはかっています。学習としては、「加算(報酬)の活用」や「計画作成・障害福祉サービスの復習」、「災害時支援」、「将来を見据えた放課後・長期休暇の支援」、「障害者就業・生活支援センターと相談支援専門員の連携」をテーマに取り上げました。また、地域生活支援システム推進のため、相談支援専門員の役割の確認や「緊急時連絡票」作成に関する情報共有等を行いました。



部会の様子

学習・啓発部会 権利擁護ワーキング

【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

【これまでの主な取組】

・研修

「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」(平成 23 年度)

「部会内研修事例におけるスーパービジョン」(平成 24 年度)

「自己評価について」「みんなで学ぼう！！成年後見制度のイロハ」(平成 25 年度)

「障害者虐待防止—起こさないために&起こってしまったら—私たちにできること」「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」(平成 24 年度)

「成年後見制度講演会」「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(平成 25 年度)

「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から」「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」(平成 26 年度)

「障害者差別解消法が目指すもの」(平成 27 年度)

「障害者差別解消法ってなに？～法律の概要と活用のポイント～」 「障害者の権利擁護について～障害者の虐待防止～」(平成 28 年度)

「私らしく自己決定」「障害者差別解消法と地域協議会について」(平成 29 年度)

「不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供～権利条約の示したもの～」(平成 30 年度)

・合理的配慮好事例の収集(平成 30 年度～令和元年度)

【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②広島県難聴者・中途失聴者団体連絡会廿日市支部③障害者施設・原家族会④虹の会⑤おのおの手をつなぐ育成会⑥相談支援事業所あおぞら⑦スイミー⑧さくら作業所⑨エスペランサ⑩サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑪くさのみ作業所⑫広島西医療センター⑬市社会福祉協議会

【令和元年度 取組計画】

- ・研修会開催(はつかいち福祉ねっとのみなさん対象)
- ・合理的配慮に関する協議

【令和元年度 取組報告】

学習としては、研修「意思決定支援のきほんの“き”」(講師：森木聡人さん)を開催し、福祉ねっとのみなさんはじめ、廿日市市障がい者差別解消支援地域協議会の委員のみなさんにもご参加いただきました。

また、前年度に引き続き障がい理解の啓発を目的とし、各障がい別会議で合理的配慮好事例の収集を行いました。これまで収集した事例を参考とし、パンフレットの案(タイトル「障害者差別解消法 合理的配慮等のポイント」)を作成しました。



ワーキングの様子

研修会の様子

学習・啓発部会 “障害者週間”ワーキング

【目的など】

障がい者福祉についての関心と理解を深めるために障害者週間に啓発活動を行います。



手話の体験教室



ロービジョン体験



1階フロアスペース



2階市民ホール

【構成団体】

- ①視覚障害者の会「椿会」
- ②佐伯地区ろうあ協会廿日市支部
- ③廿日市市障害者団体連絡会
- ④全国障害者問題研究会廿日市サークル
- ⑤日本ダウン症協会(はつかいち)
- ⑥廿日市市障害者福祉協会
- ⑦広島ひかり園
- ⑧あいあい作業所
- ⑨コーヒーショップあんず
- ⑩ピクトハウス
- ⑪くさのみ作業所
- ⑫さくら作業所
- ⑬あおぞら
- ⑭アダージョ
- ⑮あうるワークスペース
- ⑯友和の里
- ⑰なずな
- ⑱そらまめ

【令和元年度 取組計画】

- ①“障害者週間”での取り組み、啓発活動
(障がい別会議+福祉就労ワーキング)

【令和元年度 取組報告】

12月7日(土)にゆめタウン廿日市にて“障害者週間”啓発イベントを開催しました。1階の化粧品コーナー前では「アダージョ」「なずな」「あおぞら」「あいあい作業所」「くさのみ作業所」「ピクトハウス」「さくら作業所」の製品販売、手話の体験教室(佐伯地区ろうあ協会廿日市支部)、ロービジョン体験(視覚障害者の会「椿会」)を行い、2階の市民ホールでは事業所紹介のパネル展示、製品や作品の展示、ヘルプマークの紹介、あいサポート運動DVD上映、喫茶コーナー(コーヒーショップあんず)を行いました。

来場された方からは「展示してある絵画が素晴らしかった。」「パンフレットを見て事業所に行ってみたくなった。」「普段、ふれる機会の少ない事業所の活動を知ることができて良かった。」などの感想をもらっています。

毎年この取組には、ボランティア(バルーンアートなど)のみなさんの協力や、カルビー(株)さんからの協賛をいただくことで継続できています。誠にありがとうございます。

学習・啓発部会 “発達障害啓発週間”ワーキング

【目的など】

発達障がいについての関心と理解を深めるために世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間に啓発活動を行います。

【これまでの主な取組】

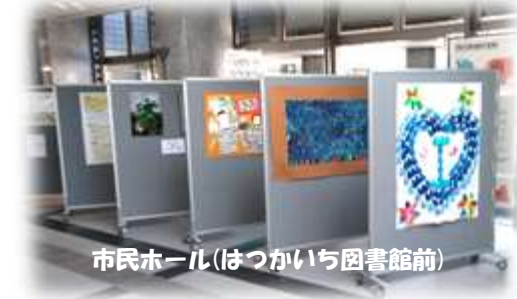
・新宮中央公園でのブルーライトアップ(平成30年度～)



手づくり横断幕・啓発ポスター・作品掲示



ブルーライトアップ(桜の木)



市民ホール(はつかいち図書館前)



あいプラザ



はつかいち I (あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～



はつかいち美術ギャラリー



お礼づる箱

あいプラザ(コーヒーショップ あんず、1階ロビー)の来館者や福祉ねっとの行事の参加者に折っていただいた青色の折り鶴は、啓発のための横断幕に使用させていただきました。

【構成団体】

- ①廿日市市障害者団体連絡会
- ②廿日市市障害者福祉協会
- ③ふれじゅーる
- ④広島ひかり園
- ⑤大野ふれあい生活介護事業所
- ⑥あおぞら
- ⑦あうるワークスペース
- ⑧こどもひろばういず
- ⑨放課後等デイサービスつなぐ

【令和元年度 取組計画】

- ①“発達障害啓発週間”(世界自閉症啓発デー)でのブルーライト企画

【令和元年度 取組報告】

啓発の取組として、新宮中央公園での「ライト it up ブルー広島 in 廿日市市」(ブルーライトアップ)や、はつかいち美術ギャラリー・市民ホール(はつかいち市民図書館前)・山崎本社みんなのあいプラザでの「はつかいち I (あい)アート展～“発達障害啓発週間”作品展～」を行いました。はつかいち美術ギャラリーには、470名の方にご来場いただき、アンケートには「高齢の自分には障がいのある人のことを関係ないと思わず、これからもっと関心をもとうと思った」「色々な人ががんばって書いてくれた作品を見ると「お互いがんばろう」と思った」などの声がありました。

協力し合いながら準備を進めた初めての試みは成功し、発達障がい啓発のための第一歩となりました。

※自閉症・発達障がい啓発のシンボルカラーである“ブルー(青)”は、「癒し」や「希望」を意味し、全国各地でブルーライトアップが行われています。